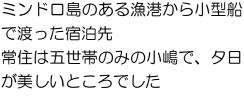
フィリピンの島々

フィリピンは、干潮になると顔をだし、満潮になると沈んでしまう島や、無人島も多数くあり、大小5000余の島から成り立っているそうです



首都マニラがあるのは、ルソン島。隣のミンドロ島には、船(ホバークラフト)で行きました。宿泊先のバンブーホテルは、島々が眺められる海辺に面しています

セブ島へは一度マニラへ戻り、飛行機で行きました。けたたましいほど人が多くにぎやかです。日曜礼拝に参加しましたが9割はクリスチャンとのこと、教会の多いところです昔ながらの市場には活気があり混沌としていますが、その横ではドでかいショッピングモールの建設が進んでいました





サンゴのかけらでできた砂浜



日曜日の教会風景

フィリピンの感想を一言で、と聞かれたら「とにかく子供たちが多いのです」に尽きます。町中から少数民族の村まで、戦後の日本のような、と表現していいでしょう。二十年後が楽しみな国です。エネルギーの大消費国になるのもまじかです。できうれば、将来のエネルギー供給手段として原子力が選択されることがないことを祈ります